

# 令和元年度 学校評価表

# 島根県立吉賀高等学校

「学校経営方針」  
地域に根ざした中高一貫教育を推進する県立高校として、地域や保護者との連携を密にし、信頼される魅力と活力ある学校づくりを教職員組織でめざす。

教育目標  
1. 主体的に行動し、広い視野をもつ人間の育成  
2. 知性に富み、情操豊かな人間の育成  
3. 健康で実践力のある人間の育成

評価項目	重点目標	具体的施策	主資料	自己評価(昨年度)	取組状況と課題	学校関係者評価		改善策
						評価	意見	
1 学力の向上	基礎基本の定着と学習意欲の向上	授業力の向上、不断の授業改善 個に応じた指導 ・個別指導、添削指導	教務評価 生徒・保護者評価	3 (3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>公開授業、教育委員会による訪問指導等の機会を活用し、教員同士互いに授業を参観し合うと共に、今年度も授業アンケートを実施し、分析とフィードバックを行うことで、授業力向上に努めた。</li> <li>「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業づくりをめざし、ICT活用や協働学習、探究型学習等の取り組みを推進した。</li> <li>様々な形で教員のための研修会を企画し、授業改善に努めた。</li> <li>学習時間調査を実施し、担任による個別面談を丁寧に行うことで、学習サイクルの確立や、個に応じた学習習慣の形成を図った。</li> <li>きめ細かい個別指導、添削指導に努め、個々の状況に応じた学習を支援した。</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの保護者から、「他地域に進学するより吉高に入った方が勉強しやすい」「吉高に行かせたい」などと聞くようになった。小規模校ならではの少人数指導・個別指導の成果である。</li> <li>学校と公設塾「よしか塾NEXT」との連携による、更なるレベルアップを期待したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全教員が、それぞれの学力層に対して授業目標を明確に設定し、日々の授業がより効果的なものになるよう努めるとともに、教務部は授業力向上を目指す企画・評価を検討する。</li> <li>低学力層への学習支援はもとより、中高学力層への学習支援を計画実践し、学力保障・進路保障の充実を目指す。</li> <li>個々の生徒の学力向上を組織的に教科横断的に行うため、教科主任会において情報交換を密に行う。</li> </ul>
		予習・授業・復習の学習サイクルの確立 ・学習時間調査実施、家庭学習への指導、学習意欲の向上	教務・学年評価	3 (3)		3		
2 基本的な生活習慣の確立	自主的・自律的な生活態度の育成 社会人基礎力の育成 (学校はよい習慣を身につけるところ)	生徒との信頼関係構築と協働 ・挨拶、声かけの励行	生指・生徒・保護者 地域評価	3 (3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあい巡回や身だしなみ指導など定期的な指導ができ、多くの生徒が規律を守りつつ、落ち着いた学校生活を送ることができた。生徒の変化の察知やトラブルの未然防止のため、教員間での情報の共有をよりいっそう充実させていく必要がある。</li> <li>町外・県外生徒への指導体制も、各部署からの協力・支援に基づき整いつつあるが、日常生活の場面では様々な課題が残っている。</li> <li>生徒支援部会や生徒支援委員会の適宜開催によって、配慮の必要な生徒の情報共有が図られ、外部機関と連携をとりながら生徒の課題に組織的に対応することができた。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・QUアンケートや安全安心アンケートの実施により、生徒の内面の不安などを把握し、問題の早期発見や未然防止を進めていく必要がある。また、心身の不安定な生徒に対する継続的な観察や支援など情報共有と共通理解を一層深め、組織的な対応を目指していく。</li> <li>・全教職員で積極的に生徒に関わり、生徒一人ひとりが学校・地域社会の担い手という意識を高め、さわやかな学校生活、交流センターでの生活が送れるよう指導していく。</li> <li>・ケースにより窓口をはっきりさせ、組織的に対応できるよう体制の整備を行う。生徒指導部内や学年会との情報共有を行い、適切な対応ができるようにしていく。</li> </ul>	
		自律的な生活態度の育成 安全・安心な学校環境の整備	生指・生徒・保護者 地域評価	3 (3)		3		
		教育相談活動の充実 ・必要な生徒への個別支援	生指・保健評価 生徒・保護者評価	3 (3)		3		
3 部活動・学校行事の奨励	部活動の活性化 生徒会活動の活性化	積極的参加の奨励 ・地域活動への参加	生指・学年評価 地域・保護者・生徒評価	3 (3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの生徒が部活動に加入し、日々の活動に積極的に取り組んでいる。また、地域クラブを中心に地域の活動やボランティア活動に取り組むことができた。地域クラブとして参加するメンバーが、固定化されていることが課題である。</li> <li>生徒会役員を中心に学校行事や生徒会活動が行われ、彼らの独創性や自主性が発揮された活動ができた。時期によって、生徒会役員に大きな負担をかけてしまうことがあった。</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会、地域クラブ、アントレ等、生徒達の活躍を目の当たりにする機会が多くなった。ほんとうに生き生きとがんばっているなあ、と感じている。</li> <li>よしか祭やロードレース大会等、保護者も協力的で、共に楽しんでいる。</li> <li>小規模校ならではの部活動の良さが活かされるとよい。結果だけを求めるのではなく、多様な世代との交流など。</li> </ul>	
		学校行事の活性化 ・集団としての教育力の形成	生指・学年評価・生徒評価	3 (3)		4		
4 進路指導の徹底	キャリア教育(S.D.P)の充実と進路目標設定の支援	キャリア教育の充実	進路・教務	4 (3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>アントレプレナーシップ教育を始めとしたS.D.Pと進路指導を接続させることにより、キャリア形成への意識を高めると同時に、具体的な進路実現につなげることができた。</li> <li>担任による面談を重ね、進路検討会での綿密な協議を経て、添削指導、面接指導、小論文指導等の支援を行い、一人ひとりの進路希望の実現に努めた。</li> <li>今年度より従来の補習形式から模試解説に変更したが、生徒の評価は高かった。</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1対1でしっかり面談を見てもらえる。また、子ども自身の進路希望を大切に、その実現を支援してくれる。</li> <li>アントレプレナーシップ教育が年々目に見えてよくなっている。アントレの実践が、学力向上や進路実現にも良い影響を与えているのでは。</li> </ul>	
		適切な進路情報の提供	進路・学年評価 生徒評価	3 (3)		3		
		補習・放課後学習会等進路実現のための支援	進路・学年評価 保護者・地域評価	3 (3)		3		
		進路実現への支援	進路・学年評価 生徒・保護者・地域評価	3 (3)		3		
5 人権・同和教育の推進	互いの人権を尊重する人間関係づくり・集団づくり	HRでの指導の充実 他者の尊重、教職員による人権意識高揚の働きかけ	人権・同和教育評価 学年評価	3 (3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導案の改定を行い、生徒の現状に応じた授業を工夫した。</li> <li>人権・同和教育LHRをおとして、差別の歴史や現状について学ぶだけでなく、学校の実態に応じた授業を行うことで、より生徒に伝わりやすい実践に努めた。</li> <li>安全安心アンケートの実施をおとして、生徒間での言動や行動把握に努めた。</li> <li>教職員研修を定期的に行い、教職員の人権意識高揚に努めた。</li> <li>保護者研修の成果を、島根県PTA人権・同和教育研修会にて発表していただいた。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの子どもの意見を尊重してもらえ学校である。</li> <li>保護者も生徒・教員と共に人権・同和教育事業に取り組んだ。</li> </ul>	
		教職員・保護者研修の充実	人権・同和教育評価	3 (3)		3		
6 中高一貫教育の推進	「ねらい」を共有した活動により信頼関係を高める	推進重点事項の設定と実施	中高一貫教育アンケート	3 (3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>年度当初に中高一貫教育の歴史と意義を再確認し、推進重点事項について検討の上実施した。</li> <li>年度末アンケートの形式や内容について再検討し、より実質的な改善につながるよう工夫した。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校との連携が深く強くなってきたことで、保護者の間でも吉高の評価が上がった。町内生の高校進学率向上にもつながったのでは。</li> </ul>	
7 魅力と活力ある学校づくり	学校の情報を地域・保護者に十分に伝える	サクラマス・ドリーム・プログラムの立案と実施	生指・総務評価 生徒・保護者・地域評価	4 (4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>吉高支援室・魅力化コーディネーターが地域人材と学校(教職員・生徒)をしっかりと結びつけてくれており、生徒の地域課題発見や課題解決に向けての充実した取組につながっている。また、吉賀町キャリアパスポートの作成も進んでおり、幼保小中高一体となったキャリア教育推進体制が整っている。</li> <li>学校だよりは今年度より業者印刷としており、原稿不備の関係上、情報にタイムラグが生じる面もあるが、カラー印刷・紙質も向上し、教員の業務負担軽減にもなっている。次年度もさらに紙面の充実にも努めたい。</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町の「サクラマスプロジェクト」と、吉高の「キャリア教育成果発表会」との連動は大変画期的であり、効果的だった。今後もぜひ続けてほしい。</li> <li>・次年度は、ブースを増やしたりして、より多様な世代が参加できる発表会になるとよい。</li> </ul>	
		学校だよりの定期的発行 ・紙面の充実	総務評価 生徒・保護者・地域評価	3 (3)		3		
8 学校安全管理	危機管理意識の高揚と安全な生活環境の確保	防災避難訓練の計画的実施	総務評価	3 (3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>下七日市大規模火災や全国各地の災害等を踏まえながら、定期的な防災避難訓練を実施した。教職員・生徒のさらなる防災意識を高めるため、次年度は訓練の抜き打ち実施も検討したい。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度火災を体験し、町は大きな打撃を受けた。その中でも、吉高生が積極的にボランティアに参加してくれたことはとてもありがたかった。</li> </ul>	
		安全点検の計画的実施	生指評価 生徒・保護者・地域評価	3 (3)		3		

【評価】 4：十分達成できた 3：概ね達成できた 2：やや不十分であった 1：全く不十分で達成できなかった